

## 心の居場所ってどんな所？

『学校って何だろう？』の一つの答え」の記事（「雑学BN」の「マスコミ等コメント関係（IV）」P、2007.08.14.：参照）を目にしてくれたある親御さんから、次のようなメールが届いた。

【 「学校って何だろう？」の記事を読んで、心の居場所ってどんな所？とふと思った。昨今、“家庭に居場所がない”とか、居場所について聞くことがある。心の居場所は、何処にあるだろうと色々と考えてみました。

お盆で帰省し先祖に線香をたむける親戚やお墓参りをする姿をみて、自分たちが育ったふるさとの居場所？

子供たちの心の居場所が、学校になっているとのHPの記事を読んで、家庭は居場所じゃないんだ！どうしてだ！なにが、駄目なんだ！

そうか、許される場所が心の居場所なのかな？  
失敗しても、間違っても、許してもらえる人がいる所？  
我が家はどうだったかな、深く反省(T\_T)

許し合える人との係わり合いから居場所が見つかると思いました。  
私にとって、メールも心の居場所かも知れません。 】

次のように返信した。

【 この TV 番組の生徒さんたちは、家に居場所のない事情のお子さんたちですので、教師は「まず、居場所になろう」ということだと思います。

先の「いじめが終わるとき」の本では、「居場所：子どもが安心して安定的に自分が自分であることを保障されている場」と説明されていました。

やはり「自分が認められ、甘えられる人がいてくれるお陰で、生きる元気を貰っている」と実感できる日々があるということではないでしょうかね。

そのためにはコミュニケーションを諦めないことですよね。

あなたのおっしゃる「許される場所、失敗しても、間違っても、許してもらえる人がいる」ということとも通じることかなと思います。

ただ、「甘やかすことでなく、甘えさせて上げる関係作り」が大事なことだと思います。

言葉を代えれば、時々HPにも書いていますが、「相手を理解しようとする前に、まず、相手から理解者と思われる存在になるよう心懸ける」という事でないでしょうかね。

自分は直ぐに周りの方々に、ダメ元で甘えを発信しています(^o^ ) 】